

# 令和元年度山口リハビリテーション病院 第1回外部講師招聘講習会報告

1. テーマ: 高次脳機能障害に対するリハビリテーション  
— 高次脳機能障害の評価と治療的介入および生活への汎化方法 —
2. 講師: 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部 学生部長  
 瀧 雅子 先生
3. 日時: 令和元年 10月30日(水) 17:10~18:40
4. 場所: 山口リハビリテーション病院 1階 リハビリセンター
5. 対象: 医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
6. 参加人数: 約 80 名

この度は、九州栄養福祉大学リハビリテーション学部学生部長の瀧雅子先生にご講義いただきました。



まず、どのようにして「機能を生活に変えるか」という点から、情報収集や観察、検査の意味、解釈の進め方などについて、具体的な生活場面の例を提示いただき、大変分かりやすくご教示いただきました。その中で、「機能と生活は両輪である」ことを十分に理解し、その基盤にある神経生理学的背景を理解する重要性について学びました。

次に、生活課題における介入方法では、「生活をどうみるか」という思考プロセスやチェックシートのご紹介をいただきました。対象者自身の気づきを促す声掛けや環境の調整などをおし、背景にある脳機能を理解する重要性について学ぶことができました。また、動作を繰り返しながら対象者が主体的に活動を行うことで、初めて生活への汎化のための気づきにつながると感じました。



今回は、高次脳機能障害に対するリハビリテーションをテーマにご講義いただきました。今回学んだ多くの視点を臨床場面で実践し、より充実したリハビリテーションを提供できるよう研鑽を続けていきたいと思っております。

最後に、瀧先生には限られた時間の中で多くの視点からご講義いただきました。厚くお礼申し上げます。

(文責 作業療法課長 田中 伸二)

